

特定非営利活動法人  
日本小児循環器学会会員各位

2015年3月

日本小児循環器学会雑誌の新しいスタート  
—大きな波及効果が期待されます—

日本小児循環器学会編集委員長 白石 公

日本小児循環器学会雑誌は本号より電子ジャーナルとなりました。電子ジャーナルの特徴は、いつでもどこからでもダウンロードして記事を読覧することができること、小児循環器の診療には不可欠な心エコーや血管造影やカテーテル治療の動画を投稿および閲覧することができること、投稿も電子化で簡単にできるようになること、電子媒体を使って双方向性の情報交換が可能になることなど、これまでの印刷冊子ではできない多くのメリットがあります。もう一つの特徴として、学会経費の大きな部分を占め予算を圧迫していた学会誌の印刷コストを削減することで、その部分を e-learning などの教育システムの充実、英文雑誌の発刊の実現、若い先生がたの国際交流など、学会としての今後の方向性を担う新しい重要な取り組みに予算を充てることができるという大変大きなメリットがあります。一方で、本を手にとってゆっくりじっくり眺めたり、大事な部分に読者独自のマーキングやコメントを手書きで入れたりという、冊子体ならではの特徴が無くなるのも事実です。そのために年3回印刷媒体のニュースレターを発刊し、学会員のみなさまにアナログ的な情報伝達も行っていく予定にしています。

学会誌の電子化はカルテの電子化と似た部分があり、最初はとまどいますが、慣れると電子ジャーナルの良さと便利さを十分に享受していただけるのではないかと考えております。学会誌の電子化を機会に雑誌が新しく変わるだけでなく、学会活動全般に大きな良い影響が出るものと編集委員一同は確信しております。ご期待いただければと思います。

最後になりますが、電子ジャーナルへの準備に予想以上に時間を要したこと、電子ジャーナル発刊に際して出版社が新しい会社に移行したことから、第1号と第2号を合冊にして3月に発刊せざるを得ませんでした。原稿をご寄稿くださいました先生方、ならびに読者である学会会員のみなさまに、ご不便をおかけいたしましたことを編集委員長より深くお詫び申し上げます。